



澤本 長俊 議員

健康保険証の廃止に向けた取り組みについて

健康保険証の廃止に向けての市の対応は

市民に不安や混乱が生じないように対応します

マイナンバーカードの普及、またそれに伴うマイナンバーカードと健康保険証との紐づけにより、来年秋季以降に現在の健康保険証が廃止される予定である。

マイナンバーカードを取得されている方でも、マイナンバーカードはどのようなものなのか、何ができるのか、健康保険証との紐づけがどういったことなのか等、理解されていない方がたくさんおられると思う。

問 マイナンバーカードはどういうものなのか、何ができるのか、健康保険証との紐づけ

がどういったことなのか等を周知し、理解してもらおう必要があると考えるが、マイナンバーカードの活用方法とその周知について伺う。

答 市民生活部長

マイナンバーカードと健康保険証との一体化により、確実な本人確認、加入している医療保険や自己負担限度額などの資格情報の確認だけでなく、転職や転居の際の健康保険証の切り替え・更新、高額医療費の自己負担限度額の認定申請が不要になります。

また本人の同意により、過去の健康医療データを活用し、より適切な医療の提供が受けられるなどのメリットがあり、こうしたメリットも踏まえ、来年秋季の健康保険証の廃止に向けて、国や県、医療機関とも連携しながら、市の広報誌やホームページ等で周知啓発を行うとともに、本庁・支所に相談窓口を設置するなど丁寧に対応します。

問 紐づけの仕方や使い方がわからない方も多くおられ、健康保険証の廃止に向けこれまで

の啓発のレベルでは追い付かないと考えるが市の対応について伺う。

答 市民生活部長

健康保険証の紐づけが出来ていない方へは、個別にご案内することが必要であると考えており、広報の際には、例えば、医療機関での使い方、住民票のコンビニ交付など、マイナンバーカードやマイナ保険証を実際に使う場面を出来る限りわかりやすくお示したいと考えています。また、ご希望があれば自治会での会合や施設へ出向き、デモ画面や動画により説明するなど、市民の皆様にご不安や混乱が生じないように、しっかりと対応します。

その他の質問

北陸新幹線敦賀延伸開業や国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を見据えた施策について